

VIII. 管理運営

1. 法人組織の管理運営体制

(1) 各委員会

1) 学園関連委員会

a. 短期大学（部）学長会議

- ・ 目的 本会議は、学校法人東海大学組織及び業務分掌規程第7条第2項に基づき設置され、事業報告及び学園基本方針に則った各短大の計画について審議する場となっている。
- ・ 委員構成 学長会議は、総長（理事長）が議長を務め、副理事長、各短期大学（部）学長、学長補佐、学務局担当理事、事務局担当理事、高等教育部長、総務部長、その他総長が必要と認める教職員をもって組織している。

b. 短期大学（部）事務室長会議

- ・ 目的 学長会議の円滑な会議運営のため、事前調整と課題提出などの役割を担っている。
- ・ 委員構成 議長は、学務局担当理事が務め、各短期大学（部）事務室長、及び法人本部の高等教育部長及び高等教育課長、その他学務局担当理事が必要と認める教職員をもって組織している。

c. 総合研究機構運営委員会

- ・ 目的 『学校法人東海大学総合研究機構基本理念』に基づき、総合研究機構運営委員会を設け、研究活動を推進するために定めた事項を審議する。
- ・ 委員構成 委員長は理事長とし、委員は常務理事、大学・短期大学（部）の学長及び委員長の指名する者とする。

d. 一貫教育委員会

- ・ 目的 学校法人が設置している幼稚園から大学院までの教育の一貫性と融合性の推進を目的として、様々な方法論等を検討、協議し、実践するための企画を立案するために設置された委員会である。この委員会は第一部会から第四部会に分かれ、それぞれのテーマを協議、検討を行っている。
- ・ 委員構成 総長が委嘱する次の委員等をもって構成する。
 - 委員長 総長が任命する理事とし、委員会を総括する。
 - 副委員長 委員長が指名する者とし、委員長を補佐する。
 - 事務局 委員長が指名する者若干名で構成し、委員会および運営委員会の司会進行を行う。
 - 専門部会長 委員長が指名する者とし、各専門部会を総括し運営する。また、必要に応じて副部会長を置くことができる。副部会長は部会長を補佐する。
 - 専門委員 高等教育機関及び初等中等教育機関より委員長が指名する者若干名とし、各専門部会の研究テーマに基づいて審議・研究活動を行う。
(高等教育機関より38名、初等中等教育機関より34名が指名された。)

・ 研究目標（各部会のテーマ）

(1) 『第一部会』【研究目標】一貫教育の連携をより深化させる取り組み

(研究内容)：これまで長年にわたり研究し構築してきた「建学の精神」「教育の指針」を基盤に、明日の新しい時代の具体的な一貫教育の連携は如何にあるべきか。実際に各教育機関で行われている様々な取り組みを検証しつつ、より連携を深めスケールメリットを活かした教育力を高めることをめざす。例えば、留学生や社会人を含めた教育や研究のあり方、あるいは感動体験や世代間交流の推進などの中で、一貫教育で育った生徒・学生がリーダーシップを取れるような、学園の特色をより鮮明にするプランを検討する。

(2) 『第二部会』【研究目標】理工系教育の振興をめざす取り組み

(研究内容)：園児・児童・生徒・学生の「理科好き」を増やし、東海大学の源流とも言うべき理工系分野を活性化させるためには何をなすべきか。

初等中等教育機関においては、講義中心の授業から、実験（実習）を中心に据えた授業への転換を図り、魅力的で楽しい授業を通して、理工系進学をめざす生徒を育成する。高等教育機関においては理工系学生が、多様化した社会に果敢に対応し得る人材となるべく、その育成に努める。

また、暮らしの中の「理科・数学的現象の発見」など身近で日常的な視点を養うことや、理論と体験を一体化した授業が出来る教員の養成をめざす。

(3) 『第三部会』【研究目標】文化・スポーツを通して社会教育の推進を図る取り組み

(研究内容)：学園の各教育機関における文化的教養を高め、スポーツの振興を通して学園の活性化を図る。

例えば、文化・スポーツが医療・看護等と今後どのような連携をすれば、学園の文化力・スポーツ力を高めていくことが出来るか。また文化・スポーツによる地域社会との連携や社会貢献・国際貢献は如何にあるべきか。そのための企画・運営や指導者の資質向上と育成はどうあるべきか。さらに学園内の文化・スポーツ活動への応援・サポート体制の確立と推進のあり方はどうあるべきかなど、さまざまな視点から文化とスポーツの振興をめざす。

(4) 『第四部会』【研究目標】新しく確かな女子教育をめざす取り組み

(研究内容)：各教育機関においてめざましい活躍をする女性の園児・児童・生徒・学生・教員が、持ち得る可能性をさらに高めるプランを検討する。例えば、1)女子研究者の育成 2)女子スポーツの振興 3)女子生徒・学生の指導のあり方 等、具体的なテーマを設けて検討する。

学園の女子生徒・学生の女子力の底上げを図り、学園はもとより社会において牽引力のある女性の育成をめざす。

日常生活や教育活動をはじめ、文化・スポーツ・ボランティア等、広く活躍できる女子教育は如何にあるべきか。女性の視点を重視しながら新しく確かなプランを検討する。

e. 現代文明論教育機関連絡調整会議

- ・ 目的 本会議は、学校法人東海大学が設置する大学・短期大学（部）・初等中等教育機関で実施する「現代文明論」が、法人の教育方針に沿った学園全体の統一性、整合性を維持するための講義計画案や方法論等を協議することを目的とする。

・ 委員構成

委員長 蟹江秀明学務局担当理事

委員 橋本敏明高等教育部長（法人）、佐藤恵子（東海大学総合教育センター）、山本康治（短期大学部）、新村直子（医療技術短期大学）、伊津信之介（福岡短期大学）
飯塚浩初等中等教育課 課長補佐（法人）、難波克彰（現代文明論研究センター）

事務局 小早川眞高等教育課長、相澤祐子（法人）

f. 短期大学（部）入試企画委員会

- ・ 目的 入試の基本計画に関する事項、短大（校舎）の入試の調整に関する事項、その他本委員会において必要と認める事項について審議することを目的とする。

・ 委員構成

委員長 蟹江秀明学務局担当理事

副委員長 橋本敏明高等教育部長（法人）

委員 入試問題作成委員長 柴田正憲（高輪教養教育センター）、
辻昭事務室長（短期大学部）、櫻井和好事務室長（医療技術短期大学）、
井関明宏事務室長（福岡短期大学）、
小早川眞高等教育課長（法人）

事務局 田村恵子（法人）

2) その他の学務管理

上記以外の学務運営に関しては、法人高等教育部を窓口にして相談し、本学の管理運営を行って

る。

2. 本学内の管理運営体制

(1) 学内委員会

1) 教授会

- ・目的 本会議は、本学の議決機関として、本学の教育及び研究に関する事項、学生の学籍異動に関する事項、教務及び学生に関する事項、学長の諮問に関する事項、その他必要と認められた事項について審議及び報告することを目的とする。
- ・委員構成
議 長 西野 仁 学長
委 員 専任教員全員、井関明宏（事務室長）

2) 大学経営委員会

- ・目的 本委員会は、本学の議決機関として、本学における教授会への審議事項及び報告事項等を協議し、学校運営に関する諸事項の円滑な実施運営を図ることを目的とする。
- ・委員構成
委員長 西野 仁 学長
委 員 矢原充敏、真下 仁、宮内 順、井関明宏
- ・内 容 将来構想に関する事項、予・決算に関する事項、教職員人事に関する事項、各種委員会の集約、広報活動に関する事項、短大学長会議及び短大事務室長会議に関する事項、学務に関する事項、大学評価に関する事項などについて調整する中枢機関として、各委員会からの答申に基づいて審議し、教授会審議事項の最終調整機関としての役割を果たす。

3) 大学改革会議

- ・目的 本会議は、学長の直轄機関として、本学の教育・研究及び経営に関する事項等を協議し、本学が健全に学校運営を行うことを目的とする。
- ・委員構成
議 長 西野 仁 学長
委 員 宮内 順、矢原充敏、真下 仁、林 鍾大、八尋剛規、宮川幹平、大方優子、井関明宏
- ・内 容 大学経営委員会とは別に、本学の学校運営状況を多角的に検証・協議し、教育・研究に反映した。

4) 広報戦略会議

- ・目的 本会議は、学長の直轄機関として、本学の活性化に向けてハード面とソフト面の充実を図り、戦略的に広報活動を行うことを目的とする。
- ・委員構成
議 長 西野 仁 学長
委 員 矢原充敏、真下 仁、宮内 順、佐竹則昭、上森哲生、井関明宏、香月康則
- ・内 容 教育内容、進路指導、Web ページ活用、留学生の受け入れ、地域との交流、公開講座、施設・設備の整備などを充実させ、高校訪問、Web ページ更新、DM びニュースレター、オープンキャンパス、体験授業、付属航行への対応、高校教員対象説明会、新聞・JR 広告、ゆめタウンのフロア活用などを効率的に実現させるため協議し、入試・広報委員会と連携した。

5) 委員会等調整会議

- ・目的 本会議は、学長の直轄機関として、本学の各委員会の報告・提案を受け、学内への周知並びに大学経営委員会及び教授会審議事項として妥当な事項であるかを判断することを目的とする。

・委員構成

議長 西野 仁 学長
委員 矢原充敏、真下 仁、宮内 順、井関明宏、森田博文、香月康則、山本真由美
学内会議・委員会の長

・内 容 本学の各委員会の委員長及び役職者を中心として、委員会での協議事項の報告を受け、当該事項が学校運営上、妥当なものであるかを判断し、大学経営委員会及び教授会へ答申した。

6) 危機対策委員会

・目 的 本委員会は、学長の直轄機関として、学校法人東海大学危機管理委員会と協力して、事件・事故を未然に防ぐよう教職員へ危機管理に関する啓発を行い、また防止策を検討し実施することを目的とする。

・委員構成

委員長 西野 仁 学長
委員 井関明宏、矢原充敏、真下 仁、宮内 順、森田博文、芳賀里美

・内 容 本学に関わるすべての事項に関して、事故の未然防止や活動の啓蒙について話し合った。特にセクハラやアカハラは社会的にも問題になっている背景があることから、教授会を通じて誤解されない言動についても周知徹底を図った。

7) 大学評価委員会

・目 的 本委員会は、学長の直轄機関として、本学における教育と研究及び組織と管理運営の質的向上を図るため、必要な事項の審議と点検及び評価活動を行い、学長に答申することを目的とする。

・委員構成

委員長 西野 仁 学長
委員 真下 仁、神山高行、八尋剛規、赤井ひさ子、井関明宏

・内 容 教育研究年報の発刊、授業評価アンケートの実施、授業の改善に向けた取り組みの3つの柱を中心に協議された。

1) 教育研究年報

2月下旬の発刊を目標として執筆項目及び担当者の見直しを行い、提出された原稿を元に編集した。執筆担当者からの原稿提出が遅れることが多いのが今後の課題である。

2) 授業評価アンケート

2010年度実施のアンケート結果を分析し、アンケート項目や実施方法について協議した。今年度はゼミナールが総合ゼミナールからフレッシュマンゼミナールに変更されており、様式を追加した。また、平行して実施しているリアルタイム授業評価との評価の違いがあるかどうか等、比較・検証することで、授業評価をより効果的に行う方法を検討した。

3) 授業の改善に向けた取り組み（教育の質の向上に向けての活動）

当該活動を行ってきたFD委員会は、本年度「プロジェクト学習運営法の研究」を大きな柱に据えている。しかし、その本来の趣旨は、教育力の向上にあるので、大学評価委員会もなお一層FD委員会と連携を図りながら、授業参観等を支援し、効果的なものにした。

4) 大学評価アンケート

全体では2010年度の平均より高くなっているが、部署によって低い評価があり、今後の是正を提言しなければならない。また、課外活動クラブへの加入率の低下が考えられる。

「授業に対する満足度」では、両学科とも前年度を大きく上回っているが、「授業内容（カリキュラム）」、「実習室等の活用」「教員の熱意」に関しては、情報処理の評価の向上が顕著である。

8) 学科会議

・目 的 各学科において、指導教員として把握している学生の現状報告、カリキュラムや履修・成績における問題提起・解決策など、教育運営に関わる一切の事項を検討することを目的

とする。

・委員構成

委員長 各学科主任（情報：矢原充敏、国際：真下 仁）

委員 各学科専任教員

・内 容

まず、指導教員より問題のある学生を報告、その対処方法などを検討した。また、教員間で持ち合わせている情報の共有化を推進するとともに、各委員会へ提言する内容なども検討した。

9) 観光文化研究所会議

・目 的

本研究所は、本学の建学の精神にのっとり、観光による文化交流・異文化理解を学際的に幅広く捉え、観光文化の基本的命題とその応用的課題並びにこれに関連する諸問題を総合的に研究し、観光文化の発展に寄与貢献することを目的とする。

・委員構成

委員長 宮内 順

委員 神山高行、林 鍾大、吉岡メリー、大方優子、北濱幹士、(福田伸也)

・内 容

宗像市郷土文化交流施設及び地域学芸員養成講座、筑前七浦の会、宗像観光協会、宗像市商工会への協力を進め、地域連携部門として教育 GP で培った成果を本学の教育課程に活かし、備品・用品の管理も行った。また、所報について3月発刊に向けて原稿の取りまとめ、編集作業を実施した。

教育 GP の補助金交付期間が終了し、備品の管理を行うため、本研究所の場所を旧地域総合連携研究室（1号館2階）に変更した。

10) メディア情報センター会議

・目 的

本学のメディア情報学習の支援・推進に関する次の事項について審議する。

(1) 予算の編成ならびに実施に関すること。

(2) 施設、設備の管理・整備・運用に関する基本的事項に関すること。

(3) 諸事業の企画並びに運営に関すること。

(4) その他、本委員会に関する運営上の基本的事項に関すること。

・委員構成

委員長 矢原充敏

委員 八尋剛規、宮川幹平、井関明宏

・内 容

本学情報環境全般の基本システムの維持管理及び運用支援に関する事項、教材の Web 化推進のための開発環境の整備及び開発支援、図書・e-Learning 教材など学習資源の蓄積・管理・運用に関する事項、メディア情報センターの管理運営・企画に関する事務または技術全般に関する事項、及びリース物件の見直し、学生貸与ノートパソコンの現状について審議した。

また、エクステンションセンター福岡講座「東海カルチャートーク」の実施についても審議した。

11) 教務委員会

・目 的

本学の教務に関する事項を審議することを目的とする。特に授業及び試験の実施方法、授業時間割の編成、履修について対処する。

・委員構成

委員長 矢原充敏

委員 赤井ひさ子、宮川幹平、大方優子、北濱幹士、西村真紀子

・内 容

教務に関わる問題は多岐に渡り、時間割と補助教育については部会を設けた。今年度は以下の事項について協議した。

オリエンテーションウィーク内容（秋ガイダンス含む）、入学前既修得単位の認定、交換留学時単位読み替え、卒業不可者への対応、時間割調整、教員の担当コマ数、カリキュラム変更による履修上の問題、履修登録後の登録単位数、学外授業の取り扱い、海外留学時の在籍取り扱い、成績処理、ゼミ振り分け、定期試験（追試験含む）、学年暦、カリキュ

ラム、資格取得単位認定

特に 2012 年度のカリキュラム変更に伴う履修上の注意点など綿密に協議された。

1 2) 学生委員会

- ・ 目 的 本学学生が健全で充実した学生生活を送れるよう、これに関する事項を審議することを目的とする。また、教育システムの変化に適応した規則等の変更と整理を行ない、教育現場に齟齬を起こさないように対処することも目的の一つとしている。
- ・ 委員構成
委員長 矢原充敏
委 員 神山高行、チョウアンナ、赤井ひさ子、北濱幹士、森田博文、古川智絵美、福田伸也
- ・ 内 容 奨学金、学生行事、保健管理は部会を設け、委員会以外でも審議した。学生行事（学友会活動含む）、何でも相談、車両通学、喫煙マナー、学生状況については常に審議し、情報の共有と学生への関わりを推進した。奨学金については、多種多様な種類についての選考に時間を要し、留学生奨学金の選考及び採用後の指導など年間を通じた業務となっている。特に日本学生支援機構奨学金については、返還誓約書の提出、月額変更、人的保障者の変更、除籍・退学者対応について、対象学生の状況により、機構との連絡も必要としている。また、卒業後の未返還者への対応など今後の課題も多い。

1 3) 国際交流委員会

- ・ 目 的 本委員会は本学における国際交流に関する諸事項の円滑かつ有効な実施運営を計ることを目的とする。
- ・ 委員構成
委員長 宮内 順
委 員 吉岡メリー、林 鍾大、神山高行、伊原奉賢、チョウアンナ、西村真紀子
- ・ 内 容 次の内容を協議することとなっている。
 - (1) 学術交流協定の新規締結・更新・廃止他の計画に関する事項
 - (2) 学生・研究者・教職員の海外派遣に関する事項
 - (3) 留学生・外国人研究者の受入れ・支援に関する事項
 - (4) その他本委員会において必要と認めた事項2011 年度は、特に韓国・ハワイ・中国への短期留学の計画・立案、実施、報告と東義科学大学との交換留学派遣について協議した。

1 4) 現代文明論委員会

- ・ 目 的 学長の諮問により、本学における現代文明論の実施運営に関する事項を審議することを目的とする。
- ・ 委員構成
委員長 伊津信之介
委 員 真下 仁、神山高行、宮川幹平、森田博文
- ・ 内 容 「現代文明論」は、東海大学の建学の精神及び教育の理念の下に展開される全学共通の必修科目である。本学における「現代文明論 I」及び「現代文明論 II」は、こうした創立者の思想や教育理念を継承し、その生き方に学びながら、東海大学が建学の精神の一つとして掲げている「若き日に汝の思想を培え」を学生自らが各講義を通じて理解し具現化することを目標に展開するものである。
2010 年度に続き 2011 年度の現代文明論でも、「若き日に汝の思想を培え」の具現化と共に、それを支える能力として「聞く」・「書く」・「編む」・「発言する」力を培う訓練を、レポート作成と討論を通して行ってゆくことに一層の力を注いだ。「聞く」・「書く」・「編む」力が「思想を培う」こと、それを発表する力の育成を現代文明論の伏線に位置づけた。

1 5) 進路委員会

- ・ 目 的 本学学生の就職及び進路指導に関する事項を審議することを目的とする。
- ・ 委員構成

委員長 宮川幹平

委員 齋藤守正、宮内 順、神山高行、赤井ひさ子、井関明宏、山本真由美

・内 容 主に次の内容を協議した。

- (1) 進路状況の動向調査
- (2) 両学科共通科目の「進路対策 I・II・III・IV」の実施計画及び次年度以降の検討
- (3) 企業実習の企画立案
- (4) 学園内推薦編入学に関する推薦候補者の指導
- (5) 進路指導体制の構築に関する立案
- (6) その他、進路に関するガイダンス・講座等の企画運営及び調査研究

本学の運営上重要な内容を協議する委員会のため、答申だけではなく実行組織としての活動も求められた。企画立案に止まらず、企画の即効性や実効性を図った。また、厳しい就職状況を反映して企画内容についても従来の方法を再検討する時期にきていることから、進路状況の動向をより深く調査し、指導対策の改善が課題となっている。

16) 入試・広報委員会

・目 的 次の内容を協議することとなっている。

- (1) 入試・広報の基本計画及び運営に関すること
- (2) 入試・広報に関する各種資料の収集・調査分析に関すること
- (3) 入試・広報に関する印刷出版物等の企画・立案に関すること
- (4) その他、本委員会において必要と認めた事項

・委員構成

委員長 真下 仁

委員 伊津信之介、佐竹則昭、林 鍾大、チョウアンナ、八尋剛規、井関明宏、香月康則、上森哲生

・内 容 学長直轄機関の広報戦略会議とも連携を図りながら、次年度入試企画の他、広報に関しては、パンフレット作成、オープンキャンパス（学校見学会を含む）企画、高校訪問、広報ツール作成等を行ったが、特に、本学を外部にアピールするために、入試広報委員を中心に、学内全体が一丸となって高校訪問を実施する体制を整えて、より多くの高校の先生方や高校生に本学の存在を理解していただくように努めた。また、東海大学本体の認知度の向上も視野に入れながら、新聞、電車の中吊り、地域の広報誌等にも積極的に情報を掲載し、地域に本学を周知させる広報を行った。

高校生保護者対象の進学説明会の実施、高校での出前授業の実施、出口確保、また給付奨学金入試について、給付金額の種別を設定し、当該入試の存在をアピールするなどの提案もあり、現状を打破するための改革が論じられた。

17) FD委員会

・目 的 本委員会は本学における授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修・研究の実施及び活動支援を目的とする。

・委員構成

委員長 大方優子

委員 徳永克美、八尋剛規、佐竹則昭、井関明宏

・内 容 これまでの相互参観授業、ICTを利用した授業評価、FD研究会の開催という基本活動方針を見直し、プロジェクト学習運営法の研究とノート PC を活用した授業手法の開発支援とした。また、FD 活動資金として法人の経費支援も確定し、2012 年度から実施されるプロジェクト学習のモデルケースの取り組みや FD 研究会（3回：健康管理室及びハラスメント防止対策委員会合同開催含む）を実施した。

18) 施設・エネルギー推進委員会

・目 的 本学を維持管理していく上で消費する年間のエネルギー（電気・水道・ガス・燃料）量、特に電気について、東日本大震災の影響による節電が日本中で叫ばれている。本学もエネルギーの節減努力をし、経費減額と教職員・学生への啓蒙を図ることを目的とする。

・委員構成

委員長 井関明宏

委員 真下 仁、斎藤守正、徳永克美、(森田博文)

- ・内 容 2010年度に空調機器を吸収式からチラーに変更したため、燃料は重油から電気となった。電気料金は基本料金について過去12ヶ月の最大需用電力で請求されるため、デマンドの管理が課題となった。

19) 人権啓発委員会

- ・目 的 本学における基本的人権に関する意識の高揚を計るとともに、学生及び教職員が健全な社会の構築に寄与することを目的とする。

・委員構成

委員長 井関明宏

委員 真下 仁、斎藤守正、徳永克美、(森田博文)

- ・内 容 県内や市内で開催された人権研修会に参加し、人権に関する意識の高揚を図ることや学内への啓蒙を図った。

20) セクシャルハラスメント人権委員会

- ・目 的 本学におけるセクシュアル・ハラスメント防止と被害者を救済することを目的とする。

・委員構成

委員長 井関明宏

委員 真下 仁、矢原充敏、大方優子、芳賀里美

- ・内 容 教学上(教育、研究及び課外活動を含む学生生活)、業務上等の関係を利用してなされる、次にあたる行為がないか審議した。
- (1) 性的要求への服従又は拒否を理由に利益又は不利益に影響を与えること。
 - (2) 利益又は不利益を条件として性的誘いかけをなし、又は、性的に好意的な態度を要求すること。
 - (3) 性的言動、掲示等により不快の念を抱かせるような環境を作り出すこと。

21) 安全衛生委員会

- ・目 的 関係法令及び学校法人東海大学安全衛生規程に基づき、東海大学福岡短期大学教職員の安全及び健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進することを目的とする。

・委員構成

委員長 井関明宏

委員 斎藤守正、吉岡メリー、古川智絵美

- ・内 容 教職員の安全及び健康の確保については、常に大学経営委員会や健康推進室を中心に周知徹底された。小規模組織のため、管理運営上における意思統一や指示命令系統は整理されている。しかし、今後予測される問題への調査や防止策については、積極的な展開ができず、学園からの指示や啓蒙に頼っていることから、委員会が自主的に活動できる体制にすることが課題となっている。

(2) 校舎間委員会

1) 福岡校舎連絡協議会

- ・目的 福岡キャンパスとしての認識を再確認するとともに、現状を把握し、互いに協力していくことを主たる目的とする。
- ・委員構成
 - 委員長 西野 仁 福岡短期大学学長
 - 委員 (短大) 真下 仁 国際文化学科主任、矢原充敏 情報処理学科主任
井関明宏 事務室長
 - (五高) 武富正治 校長、森永州一 副校長、石井一視 教頭、
辛島久樹事務長 (望星高校福岡校、自由ヶ丘幼稚園兼務)
 - (望星) 福島敏満 教務主任
 - (自幼) 中村武徳 園長
- ・内容 各校舎より学年暦、行事、広報活動、一貫教育、危機管理、将来構想などを中心に協議され、様々なイベント等に協力して参加できる体制作りを目指した。また、今後の受験者増を視野に入れた教育改革に向けて意見交換を行った。
今後のキャンパスの活性化に向けて、行事の一本化や教職員の交流を活発化させる課題があるが、年々各機関とも学校運営を優先させるため継続的な審議となっている。また、一貫教育を中心とした行動活動ができないか、今後検討が必要である。

2) 一貫教育委員会 (福岡校舎)

- ・目的 付属第五高校や望星高校福岡校との高大連携に関する事項を調査研究し、答申すること。
- ・委員構成
 - 委員長 矢原充敏
 - 委員 真下 仁、井関明宏
- ・内容 多くの付属推薦入学者確保に繋げることを目的として、付属第五高校との連携授業「東海キャリアチャレンジ」を実施し、生徒に対して早期に本学教育への意識付けを行った。また、付属第五高校現代文明論講義にも本学教員が講義した。
法人の一貫教育委員会のテーマとは別に、基礎学力低下問題や目的意識の不透明化などが共通した課題であることから、より多くの意見交換を行う場を設け、福岡キャンパスが一体となった取組と活用方法が当面の課題となった。

3. 事務組織

(1) 職員数

2011年5月1日現在

区 分	事務職員			技術職員			臨時職員			計			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
事務室	5	5	10	0	0	0	1	1	2	6	6	12	
メディア情報センター	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	兼務者1
健康推進室	1	0	1	0	1	1	0	0	0	1	1	2	兼務者1
計	7	5	12	0	1	1	1	1	2	8	7	15	兼務者2

(2) 職員名簿 (臨時職員を除く)

所属	役職・職能資格		氏名	法人採用 年月日	福岡短期大学 発令年月日	現職 発令年月日	備考	
事務室	事務室	室長	参事	井関 明宏	1975.4.1	2011.4.1	2011.4.1	
		室長補佐	主事	森田 博文	1987.4.1	2003.4.1	2011.4.1	
		係長	主事	香月 康則	1988.4.1	2001.4.1	2005.4.1	
		係長	副主事	山本 真由美	1975.4.1	1996.4.1	2008.4.1	
			副主事	西村 真紀子	1987.4.1	1997.4.1	2009.4.1	
			副主事	芳賀 里美	1981.4.1	2005.4.1	2010.4.1	
			主査	久田 秀子	1970.4.1	1990.4.1	2004.4.1	
			主査	胡子 直子	1993.4.1	2011.4.1	2011.4.1	
			特任職員	上森 哲生	2011.4.1	2011.4.1	2011.4.1	
	特任職員	福田 伸也	2011.4.1	2011.4.1	2011.4.1			
メディア 情報 センター	メディア情報センター	所長	教授	矢原 充敏	1993.4.1	1993.4.1	2009.4.1	
	管理企画室	室長	参事	井関 明宏	1975.4.1	2011.4.1	2011.4.1	兼務
	ラーニングリソースラボ	室長	准教授	宮川 幹平	2003.5.1	2003.4.1	2004.4.1	
	情報システム室	室長	准教授	八尋 剛規	1992.4.1	1992.4.1	2004.4.1	
健康推進室	健康推進室	室長	参事	井関 明宏	1975.4.1	2011.4.1	2011.4.1	兼務
			中級保健技術員	古川 智絵美	1999.4.1	1999.4.1	2009.4.1	

(3) 教職員の研修等

NO	期間	研修会名称	開催場所	出席者名
1	5/6-8	新任考課者研修	東海大学代々木校舎	宮内 順
2	6/14	大学入学者選抜・教務関係事項連絡協議会参加	都久志会館	井関 明宏
3	6/11	九州大学創立百周年記念講演会「新しい時代の情報図書館学へ向けて」受講	九州大学 付属図書館視聴覚ホール	久田 秀子
4	6/17	福岡地区短期大学学生部懇談会出席	筑紫女学園大学短期大学部	森田 博文、福田 伸也
5	6/17	学園互助共済年金制度代議員会	東海大学代々木校舎	芳賀 里美
6	6/23-24	平成23年度私立大学等経常費補助金説明会	福岡大学	胡子 直子、西村 真紀子(24日のみ)
7	6/24	平成23年度私立大学等経常費補助金説明会	福岡大学	井関 明宏
8	6/27	男女共同参画推進懇話会	宗像市役所	真下 仁
9	6/30	九州地区学生指導協議会 大学生の交通事故防止懇話会	福岡女子大学	福田 伸也
10	7/21-22	2011年度課題別研修EI(感情コントロール)トレーニング研修受講	代々木校舎2号館3階2341教室	山本 真由美
11	8/23	第37回福岡県私立短期大学教務担当者連絡会	折尾愛真短期大学	西村 真紀子
12	8/26	福岡地区短期大学就職担当者連絡協議会「夏季研修会」参加	筑紫女学園大学短期大学部	山本 真由美
13	9/1	役員研修会及び理事会	宗像ユリックス	大方 優子
14	9/7-10	職場リーダー研修	東海大学孺恋高原研修センター	香月 康則
15	9/8-9	短期大学コンソーシアム九州 合同FD/SD研修会参加	長崎全日空ホテルグラバーヒル	西野 仁、真下 仁、伊津 信之介、 吉岡 ムー、徳永 克美、 大方 優子、井関 明宏、
16	9/12	九州地区私立短期大学協会「教職員研修会」	福岡ガーデンパレス	井関 明宏
17	9/14-17	職場リーダー研修	東海大学孺恋高原研修センター	森田 博文
18	9/16	科研費公募要領等説明会	九州大学創立五十周年記念講堂	芳賀 里美
19	11/4-6	平成23年度九州地区大学体育協議会体育系学生リーダーズ・トレーニング	福岡県立社会教育総合センター	北濱 幹士、森田 博文
20	11/16	年末調整説明会	宗像ユリックス	芳賀 里美
21	11/18	メンタルヘルスセミナー	博多グリーンホテル アネックス2F会議室A	古川 智絵美
22	11/25	福岡地区短期大学就職担当者連絡協議会「役員会」・「研修会」参加	香蘭女子短期大学部	山本 真由美
23	12/3	認知症研修会	宗像市役所北館1階・103会議室	古川 智絵美
24	12/7	糖尿病予防教室『公開講座』	宗像ユリックス	古川 智絵美
25	2/16	第3回宗像市男女共同参画推進懇話会	宗像市役所	真下 仁
26	2/23-24	PostgreSQL Conference 2012 でデータベースに関する技術講習	コンベンションルームAP品川	八尋 剛規
27	3/7-9	北九州市及び北九州商工会議所との観光商品共同開発に伴う企業研修への出席	北九州市のトヨタ、シャボン玉、三島光産、TOTO	林 鍾大

4. 校友会組織

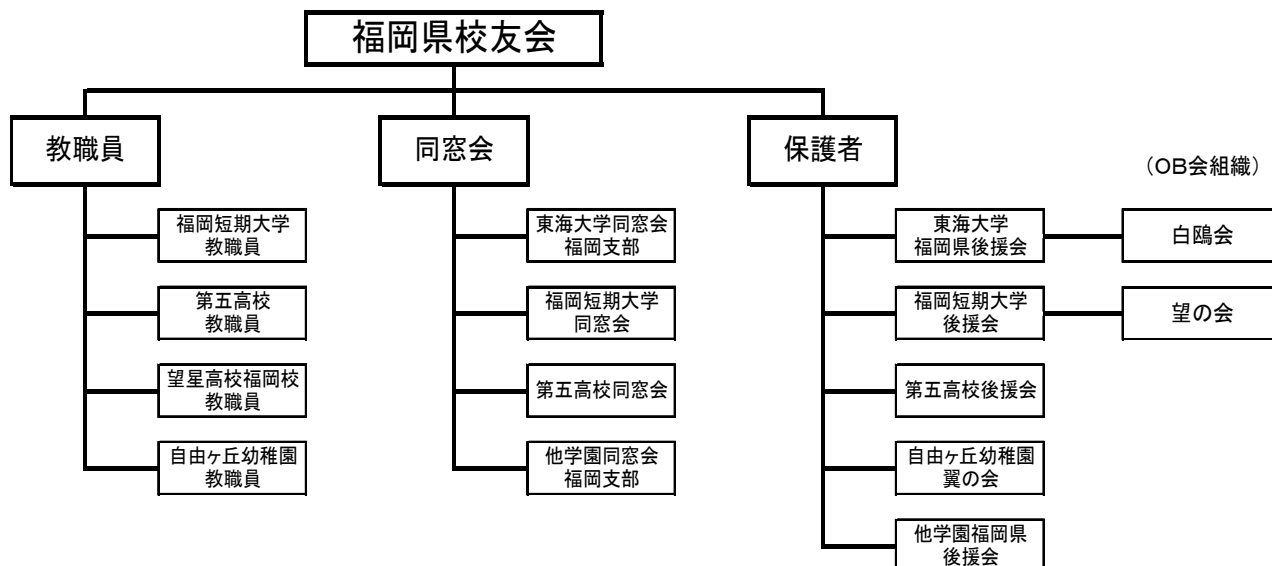
(1) 福岡県校友会

校友会とは、学園各教育機関（本学および東海大学、東海大学短期大学部（高輪・静岡）、東海大学医療短期大学、付属諸学校）の後援会（PTA 含む）、同窓会、および後援会のOBで組織する望の会や白

鷗会等の会員と教職員で構成し、会員相互の友好と親睦を深め、東海大学学園の発展並びに社会的活動の推進に寄与することを目的としている。

福岡県校友会は、以下の組織の役員と会員をもって構成し、本学からは、同窓会、後援会、望の会が所属している。なお、代表幹事には、東海大学同窓会福岡支部長で同窓会九州ブロック会長の木田文武氏が就任、事務局長には付属第五高校事務長の辛島久樹氏が務めている。

福岡県校友会組織図



(2) 同窓会

卒業生をもって組織し、会員相互の親睦を図り、会の運営を通じて社会に貢献し、併せて母校の発展に寄与することを目的としている。

活動の中心は、総会であり隔年で開催している。例年、入学式、学位授与式に来賓として参列し、校友会のイベントにも積極的に参加している。特に宗像ユリックス 24 時間 EKIDEN には、福岡県校友会の一員としてバックアップはもとより、役員自らもランナーとして参加した。

建学祭においては、役員による模擬店(やきとり)を出店し、当日参加した同窓生の交流の場となった。2012 年度は総会の実施年であるので、早くから役員会を開催し協議していくこととなった。また、様々なイベントに同窓生が参加していただけるような組織にしていかなければならない。

卒業記念パーティーでは、会長が卒業生に対して祝辞を述べた。新会員の中から新役員を選出しなければならないが、役員会に出席できる卒業生を選出することが今後の課題となっている。

今年度も同窓会会報「何しよう?」第 13 号を発行(毎年 1 回)し、会員相互交流の一助を担っている。第 8 号より新聞形式で学園全体の情報も織り交ぜながらの発刊となっている。

・役員

会 長	久 峯 直哉 (1991 年度情報処理科卒 : 1 期生)
副会長	岩 坂 良子 (1998 年度情報処理科卒 : 8 期生)
総務・会計	林 田 勝博 (1994 年度情報処理科卒 : 4 期生)
総 務	大 淵 義弘 (2002 年度情報処理科卒 : 12 期生)
	細川潤一郎 (2002 年度国際文化学科卒 : 12 期生)
監 査	吉田智恵子 (2000 年度情報処理科卒 : 10 期生)
	中野 佑美 (2007 年度国際文化学科卒 : 17 期生)
幹 事	栞 寄 博之 (1991 年度情報処理科卒 : 1 期生)
	摩 嶋 昌代 (1998 年度情報処理科卒 : 8 期生)
	北野 直人 (1999 年度情報処理科卒 : 9 期生)
	塘 将典 (2002 年度情報処理科卒 : 12 期生)

田中 裕子 (2003年度情報処理学科卒:13期生)
山本 健一 (2003年度国際文化学科卒:13期生)
内田 美鈴 (2005年度情報処理学科卒:15期生)
宮原佳菜子 (2005年度国際文化学科卒:15期生)
大庭信太郎 (2006年度情報処理学科卒:16期生)
磨井 知穂 (2006年度国際文化学科卒:16期生)
樋口 祐哉 (2007年度情報処理学科卒:17期生)
吉武 元樹 (2008年度情報処理学科卒:18期生)
山田麻真子 (2008年度国際文化学科卒:18期生)
有馬 千明 (2009年度国際文化学科卒:19期生)
高田 香苗 (2009年度国際文化学科卒:19期生)
山下友紀恵 (2010年度国際文化学科卒:20期生)

事務局長 森田 博文 (福岡短期大学事務室)

(3) 後援会

本会は本学在学生の保護者をもって組織し、本学と後援会との密接な連絡により、相互の親睦を深め、本学の発展と向上を計ることを目的として、2か月に1回のペースで役員会を行い、9月初旬に総会を開催した。

また、在籍者の多い九州山口地区は各県に支部を設け、独自で地区後援会を開催している。その他本学の入学式・学位授与式等主要行事に役員が出席し、祝辞を述べている。

なお、昨年に引き続き、建学祭への資金援助だけではなく、学生行事の理解を深め協力すること及び保護者の参加促進を目的とし、模擬店(喫茶夢僚)の出店参加をした。今後共こうした活動を通じて保護者の大学理解を促進することも大切な活動との認識を深めることができた。

・役員

顧問	池田 弘	(望の会会長)
会長	山下 晴路	(情報処理卒業生保護者)
副会長	田中賀由里	(情報処理卒業生保護者)
副会長	高崎喜美恵	(国際文化卒業生保護者)
副会長	大塚 誠治	(情報処理1年生保護者)
事務局長	栗木妥会子	(情報処理2年生保護者)
会計	吉武 律子	(国際文化2年生保護者)
会計	鍋島 洋子	(国際文化1年生保護者)
監査	水野美佐子	(国際文化2年生保護者)
監査	山本真紀子	(情報処理1年生保護者)

・役員連絡会

本学園三短大三校舎の各後援会の結集体として、後援会役員連絡会を10月15日(土)に開催した。本年度は短期大学部(静岡)の後援会が担当し、静岡県で開催した。

総会参加 山下晴路(会長)、田中賀由里(副会長)、大塚誠治(副会長)、鍋島洋子(会計)、山本真紀子(監査)、井関明宏(事務室長)

(4) 望の会

本学卒業生の保護者を会員として相互の親睦と本学の発展に寄与することを目的として毎年、建学祭期間中の11月3日に総会を開催している。

なお、望の会と後援会は表裏一体の関係であるとの認識を確認し、後援会活動に出来る限り参加した。2004年度より後援会役員会に顧問として参加することとなり、総会の議長を務めている。

また、校友会などを通じて他団体との懇親を深めることも行った。更に2006年2月からは社会奉仕の一環として赤間駅周辺清掃活動を開始する等、活動の活性化を図っている。

・2011年度役員（任期・2ヶ年）

顧問	堤田賢一（1991年度卒業生保護者）
相談役	藤井恒亮、瓜生幸雄、花田正善、平河 哲、福間弘祐、富永英暉、山口泰秀、 的場重徳（1991年度卒業生保護者）、安武信之（1992年度卒業生保護者）
会長	池田 弘（1995年度卒業生保護者）
副会長	土師紀生（1994年度卒業生保護者）、大淵茂樹（1993年度卒業生保護者）
事務局長	藤村卓郎（2002年度卒業生保護者）
理事	久保田喬、栂田藤枝（1992年度卒業生保護者） 倉敷正子（1993年度卒業生保護者）、山西敏夫（1996年度卒業生保護者） 石田基志（1997年度卒業生保護者）、友成敏博（1998年度卒業生保護者）
監事	高木 靖、高田せい子（1994年度卒業生保護者）

5. 諸規程

規程名称	管理部署	制定日
学則/学則・園則		
東海大学福岡短期大学学則	事務室	1990/04/01
組織及び業務分掌/学（校・園）長会議・教授会等		
東海大学福岡短期大学教授会規程	事務室	1990/04/01
組織及び業務分掌/大学・短大付置研究所		
東海大学福岡短期大学観光文化研究所規程	事務室	1996/04/01
総務/総務・契約・調達		
東海大学福岡短期大学安全衛生規程	事務室	2009/04/01
総務/人権		
東海大学福岡短期大学人権啓発委員会規程	事務室	1996/04/01
東海大学福岡短期大学個人情報保護委員会規程	事務室	2005/04/01
人事/人事（任用・資格・研修・出向）		
東海大学福岡短期大学教員資格審査委員会規程	事務室	1997/04/01
東海大学福岡短期大学教員資格審査小委員会規程	事務室	2003/09/01
人事/学長・校長等選任		
東海大学福岡短期大学主任教授選任規程	事務室	1991/04/01
学務/教務・委員会（教務・運営・教育・改組改編等）		
東海大学福岡短期大学企画調整会議規程	事務室	2009/04/01
東海大学福岡短期大学教学委員会規程	事務室	2002/04/01
東海大学福岡短期大学FD委員会規程	事務室	2009/04/01
東海大学福岡短期大学教員授業担当規程運用内規	事務室	2003/04/01
学務/課程・教育センター等		
東海大学福岡短期大学メディア情報センター運営委員会規程	メディア情報センター	2002/04/01
学務/学修・教育補助		
東海大学福岡短期大学学修に関する規則	事務室	1990/04/01
学務/一貫教育・現代文明論		
東海大学福岡短期大学現代文明論委員会規程	事務室	1993/04/01
学務/学位		
東海大学福岡短期大学学位規程	事務室	2006/03/01
学務/表彰・基金・奨学金・研究奨励		
東海大学福岡短期大学奨学金規程	事務室	1995/10/01
東海大学福岡短期大学資格取得奨励奨学金に関する細則	事務室	2008/04/01
東海大学福岡短期大学沖縄県竹富町との交流協定奨学金に関する細則	事務室	2004/04/01
東海大学福岡短期大学学習奨励奨学金に関する細則	事務室	2004/04/01
東海大学福岡短期大学遠隔地奨学金に関する細則	事務室	1998/04/01

東海大学福岡短期大学付属高校特別奨励奨学金に関する細則	事務室	2001/09/01
学務/学生生活・賞罰・学塾		
東海大学福岡短期大学保健管理委員会規程	事務室	1997/04/01
東海大学福岡短期大学学生生活に関する規則	事務室	1990/04/01
東海大学福岡短期大学の学生の車両入構に関する規則	事務室	1997/09/01
学務/試験・再履修		
東海大学福岡短期大学試験に関する細則	事務室	1990/04/01
学務/科目履修生・研究生・聴講生・受託生等		
東海大学福岡短期大学科目等履修生に関する規程	事務室	1994/04/01
東海大学福岡短期大学研究生に関する規程	事務室	1990/04/01
学務/地域教養講座・公開セミナー等		
東海大学福岡短期大学エクステンションセンター福岡講座運営委員会規程	事務室	2002/04/01
学務/就職		
東海大学福岡短期大学職業紹介業務運営規程	事務室	2003/10/01
東海大学福岡短期大学職業紹介業務に係る個人情報適正管理規程	事務室	2003/10/01
東海大学福岡短期大学進路委員会規程	事務室	2002/04/01
学務/安全管理（研究・実験等）		
東海大学福岡短期大学研究活動の不正防止対策委員会規程	事務室	2007/04/01
東海大学福岡短期大学研究活動の不正に関する調査委員会規程	事務室	2007/04/01
東海大学福岡短期大学研究活動の不正告発相談窓口規程	事務室	2007/04/01
学務/大学評価		
東海大学福岡短期大学大学評価委員会規程	事務室	1992/11/01
学務/入学試験		
東海大学福岡短期大学入学者選抜関係規程	事務室	1990/04/01
東海大学福岡短期大学広報・入試委員会規程	事務室	2002/04/01
東海大学福岡短期大学入学試験運営組織及び業務分掌規程	事務室	1997/04/01
国際/国際交流・海外研修・留学生（派遣・受入等）		
東海大学福岡短期大学学生の留学に関する規程	事務室	1998/04/01
東海大学福岡短期大学国際交流委員会規程	事務室	2009/04/01
図書館/図書館（運営・図書）委員会		
東海大学福岡短期大学図書館規程	事務室	1990/04/01
図書館/資料（収集・管理）・帯出・利用		
東海大学福岡短期大学図書館資料収集・管理規程	事務室	1990/04/01
東海大学福岡短期大学図書館利用規程	事務室	1990/04/01